

モニタリング結果報告書
(令和5年度)

1. 施設概要

施設名	真鶴港		
	所在地	足柄下郡真鶴町真鶴21-5（条例：足柄下郡真鶴町真鶴地先）	
	サイトURL	http://www.town.manazuru.kanagawa.jp/（真鶴町ホームページ）	
	根拠条例	港湾の設置及び管理等に関する条例	
	設置目的(設置時期)	港湾法に基づき、秩序ある整備と適正な運営を図るため (港湾区域認可：昭和29年4月、条例制定：昭和39年8月)	
指定管理者名		真鶴町	
指定期間		H31. 4. 1 ～ R6. 3. 31 (2019年) (2024年)	施設所管課 (事務所) 河港課 (県西土木事務所小田原土木センター)

2. 総合的な評価

総合的な評価の理由と今後の対応	
協定書及び事務処理要綱等に基づき、真鶴港の中心業務である岸壁や係留施設の利用承認業務及び港湾の清掃等の維持管理業務を実施しており、日々の巡視や清掃・小規模修繕により、港湾環境の保全に努めていると認められる。 なお、利用状況がC評価、利用者の満足度がA評価、収支状況がB評価となったため、3項目評価はB評価となった。	
<各項目の詳細説明> ◆管理運営等の状況 年間を通じて、船舶の岸壁利用やヨット係留等に係る利用承認業務、港湾施設維持管理業務の実施を着実に実施した。岸壁利用37件、係留97件、入出港届28件の受理を行った。 ◆利用状況 商業用クルーズ船の運行再開により、前年度比で利用者数は増加したが、年度途中（7月）の運行再開であったこともあり、目標達成率は23.8%でC評価となった。 ◆利用者の満足度 令和5年10月に実施したアンケート調査では、「満足」、「どちらかといえば満足」の上位2段階の回答割合が約83%となったため、A評価となった。 ◆収支状況 人件費の高騰に伴い、支出が増加したことから、収支の比率が88.88%となったため、B評価となった。 ◆苦情・要望等 該当なし ◆事故・不祥事等 該当なし ◆労働環境の確保に係る取組状況 該当なし ◆その他 特になし	

3. 3項目評価の結果

3項目評価	利用状況	利用者の満足度	収支状況	3項目評価とは、3つの項目（利用状況、利用者の満足度、収支状況）の評価結果をもとに行う評価をいう。
	(項目6参照)	(項目7参照)	(項目8参照)	
B	C	A	B	S：極めて良好 A：良好 B：一部改善が必要 C：抜本的な改善が必要

4. 定期・随時モニタリング実施状況の確認

月例業務報告 確認	遅滞・特記事項があった月	特記事項または遅滞があった場合はその理由
	なし	なし
現地調査等 の実施状況	実 施 頻 度	現地調査等の内容
	年 1 回 (令和 5 年10月)	備品の管理状況等確認に合わせて現地調査を実施し、適切に指定管理業務等が履行されていることを確認した。
意見交換等 の実施状況	実 施 頻 度	意見交換等の内容
	年 3 回実施	管理事務所の運営方法等
随時モニタリングにおける 指導・改善勧告等の 有無	有 ・ (無)	指導・改善勧告等の内容
		なし

5. 管理運営等の状況

[指定管理業務]

事業計画の主な内容	実施状況等	実施状況に関わるコメント
船舶の岸壁利用やヨット係留等に係る施設利用承認業務	年間を通じて、岸壁利用37件、係留施設97件のほか管理事務所の利用承認70件、入出港届28件の受理等の事務を行った。	事業計画書等に基づき、業務が実施されていた。
港湾施設維持管理業務の実施	観光客等が多く訪れることから、琴ヶ浜の公衆トイレなどの清掃及び巡視業務等を毎日実施した。	事業計画書等に基づき、業務が実施されていた。
真鶴港で開催される「豊漁豊作祭」等のイベントの際にアンケート調査を実施	「豊漁豊作祭」は規模を縮小して実施したため、より幅広い客層が来場する「なぶら市」において実施。	事業計画書等に基づき、業務が実施されていた。

[参考：自主事業]

事業計画の主な内容	実施状況等
ヨットの体験乗船会の開催	令和 5 年10月開催のなぶら市においてヨットの体験乗船会を開催。
真鶴港みなとまちづくり協議会の開催	令和 5 年 8 月に真鶴港関係団体の代表及び県・町職員が出席して開催。
ヨットオーナーズクラブと意見交換会を開催	令和 5 年12月にヨットオーナーズクラブ代表者、真鶴町まちづくり課及び神奈川県職員による話し合いを行った。

6. 利用状況

評価	《評価の目安》 目標値を設定し目標達成率で、S：110%以上　A：100%以上～110%未満　B：85%以上～100%未満　C：85%未満
C	※施設の特性から利用状況の評価を行わない場合は「目標値の設定根拠」欄に当該理由を、「目標値」欄に代わりとなる数値（定員数等）を記載してください（女性自立支援施設と県営住宅等が該当）。

	前々年度	前年度	令和5年度
利用者数※	247	220	837
対前年度比		89.1%	380.5%
目　標　値	3,378	3,445	3,513
目標達成率	7.3%	6.4%	23.8%

目標値の設定根拠：

提案書の目標値

利用者数の算出方法（対象）：

ヨット出艇届出数

※原則は人数だが、施設の状況等により変更可能。単位を変更した場合はその理由

主にヨット係留施設であるため

<備 考>

7. 利用者の満足度

評価	《評価の目安》 「満足」（上位二段階の評価）と答えた割合が、S：90%以上 A：70%以上～90%未満 B：50%以上～70%未満 C：50%未満 ※評価はサービス内容の総合評価の「満足」回答割合で行う。
A	

満足度調査の実施内容	協定に定めた調査内容	実施結果と分析
	真鶴港で開催される「豊漁豊作祭」等のイベントの際に調査	「豊漁豊作祭」は規模を縮小して実施したため、より幅広い客層が来場する「なぶら市」において実施。回答数は例年より増加し、上位２段階の回答割合が約83%でA評価となった。

〔 サービス内容の総合的評価 〕

質問内容 この施設を利用したいと思った目的は、満足できましたか。

実施した調査の配布方法	利用者に直接配布	回収数／配布数	47	／	58	=	81.0%
-------------	----------	---------	----	---	----	---	-------

配布(サンプル)対象 イベント来訪者

	満足	どちらか といえば 満足	どちらか といえば 不満	不満	合計	満足、不満に回答が あった場合はその理由
サービス内容の総合 的評価の回答数	10	29	7	1	47	理由の記載なし
回答率	21.3%	61.7%	14.9%	2.1%		
前年度の 回答数	3	6	1	0	10	
前年度回答率	30.0%	60.0%	10.0%			
回答率の 対前年度比	71%	103%	149%	－		

(複数回実施した場合は、平均値を記載。)

<備考>

8. 収支状況

評価	《評価の目安：収支差額の当初予算額が0円の施設》 収入合計／支出合計の比率が、S(優良)：105%以上　A(良好)：100%～105%未満 B(概ね計画どおりの収支状況である)：85%～100%未満　C(収支比率に15%を超えるマイナスが生じている)：85%未満
B	

[指定管理業務]

(単位：千円)

		収入の状況					支出の状況	収支の状況	
		指定管理料	利用料金	その他収入	その他収入 の主な内訳	収入合計	支出	収支差額	収支比率
前々年度	当初予算	17,668				17,668	17,668	0	
	決算	17,668				17,668	17,668	0	100.00%
前年度	当初予算	17,312				17,312	17,312	0	
	決算	17,312				17,312	17,312	0	100.00%
令和5年度	当初予算	17,341				17,341	17,341	0	
	決算	17,341		143	補償（原油 価格高騰）	17,484	19,672	-2,188	88.88%

※支出に納付金が含まれる場合、その内数			(単位：千円)
令和5年度 /	前年度 /	前々年度 /	

<備考>

9. 苦情・要望等 ☒ 該当なし

分野	報告件数		概要	対応状況
施設・設備		件		
		件		
職員対応		件		
		件		
事業内容		件		
		件		
その他		件		
		件		

※指定管理者に起因するものを記載。その他、苦情・要望への対応を行ったものを記載。

10. 事故・不祥事等 ☒ 該当なし

発生日	①発生時の詳細な状況 ②県職員による確認の状況（内容及び実施日を記入） ③その後の経過（現在に至るまでの負傷者の状況、再発防止策等） ④施設に対する問題点の指摘やクレームの有無（有の場合は概要を記入） ⑤原因及び費用負担の有無（費用負担が有の場合は内容および負担者を記入） ⑥記者発表の有無（有の場合はその年月日を記入）
	① ② ③ ④ ⑤ ⑥

※随時モニタリングを実施した場合は必ずその内容を記載。

※過去に発生したものでも、新たな対応等を実施した場合には、その内容を記載。

※なお、大きな事故・不祥事について改善勧告を行わなかった場合は、その理由を併せて記載。

11. 労働環境の確保に係る取組状況

確認項目	指摘事項の有無	備考
法令に基づく手続き	無	
職員の配置体制	無	
労働時間	無	
職場環境	無	

※指摘事項は、県による監査（包括外部監査含む）又は労働基準監督署によるものとし、有とした場合は備考欄に概要を記載。